

令和3(2021)年度 教員免許状更新講習シラバス

■講 習 名	【選択】探究学習実践講座～QFT(質問づくり) 入門～
■時 間 数	6時間
■受講対象者	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭
■担 当 講 師	岩田 薫（兵庫大学 非常勤講師）
■評 価 方 法	3講習の筆記試験の成績により評価します。各講習の合計点が100点満点となる成績評価を行い、60点以上を合格とし、履修認定を行います。
■教 材 等	必要に応じて資料を配付する。

■講習の概要

【同時双方向型（テレビ会議方式）】

学力の3要素の育成に向け「探究学習」の重要性が高まっている。探究学習が目標とする「主体的で深い学び」につなげるためには、スタートとなる課題発見が要となる。本講座では、Question Formulation Technique(QFT)という独自のメソッドを用いた問いづくり体験を通して、問いを立てる目的やその意義と方法についての理解を深め、児童・生徒の主体的な課題発見への活用を考える。

講習Ⅰ 探究学習の必要性と「主体的で深い学び」に結びつく探究学習の進め方

学力の3要素として求められる資質・能力の育成には主体的で深い学びが不可欠である。しかし、何故今そのような能力が必要なのかを指導者が理解していなければ学びを深めることは難しい。本講習では、探究学習が必要とされる、その社会背景や経緯を解説し、主体的で深い学びに結びつく探究学習のあり方を省察する。

講習Ⅱ QFT演習1：QFT体験を通じて課題発見手法を習得する

問づくりは子どもたちが「何だろう」とか「あれ?」と感じたことを言語化することで、「調べてみよう」「答えを出そう」という行動につながる。すなわち、問づくりは、探究学習の出発点になる。本講習では、米国でL.サンタナ等により開発されたQFTという問づくりメソッドを体験することで、探究学習に活用できる課題発見手法を取得する。

講習Ⅲ QFT演習2：QFTを活用した探究学習の計画

QFTは、①問いの焦点、②問だし、③問いの変換、④問いの優先順位、⑤問いの活用のステップで進むメソッドである。本講習では、QFTによる探究学習事例をもとに問を立てる目的と意義について解説し、QFTによる探究学習（課題発見）指導案を作成する。

■成績評価の観点

探究学習の目的と意義の理解とQFTメソッドの習得。QFTを活用した児童生徒の主体的な探究学習（課題発見）を計画実施することができる。